

11月は「たくさん有難う そしてご苦労さま！」を意識して。

◎年長組は祝福式(キリスト教式七、五、三)を行います。今日までの子どもの成長を見守り、支えてくださった神様に感謝しますと共に、これからも子どもたちが出会う困難や危険から、どうぞお守りくださいと祈願します。と同時にわが子を愛し、心を砕いて一生懸命育ててこられた親御さんへの「ご苦労さまです」のねぎらいの意味もあるのです。

子どもたちの育ちは、周りの方たちの温かい思いやり、大人の親切なかかわり、安心できる環境なども大きく影響しています。

これからも子どもたち一人一人がその子として、その子らしく大らかに成長しますように、祈り心をもって関わり、私ども大人も共に成長したいと願っています。

わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし 成長させてくださるのは神である

新約聖書1コリント3:6

#### ◎収穫感謝・勤労感謝

秋の実りをもたらす太陽、雨、風などの力、自然の恵みによる収穫、多くの方の働きによって私たちの命は支えられています。ありがとうございます。

もっとも最近の大雨、台風などの異常気象による災害は目を覆うばかりです。被災された皆さまの心身の痛手は計り知れませぬし、本当にお気の毒でなりません。それにこの地域にあればほどの大雨が降れば、私どもも同様の惨事に見舞われるかもしれません。他人事とはおもえませぬね。

勤労感謝・・・私たちがスイッチひとつで、電気、ガスを利用でき、ふんだんに水を使い、快適な日常の暮らしができますのも、仕事とはいえ、自分の持ち場を忠実に責任をもって働いてくださる方たちのお陰にほかなりませぬ。「給料をもらってやってはるんでしょ」。その通りなのですが、人間は必ずしも、お金のためだけではない事柄で活動したり、命を燃やしたりして生きている部分があるのではないのでしょうか。

わたしたちの知らないところで、陰ひなたなく働いてくださる方々をおぼえつつ、「電気、ガス、水」その他、大切に使いながら生活できるといいですね。

わたしたち人間は、大昔から他の人のために働く喜びを知っていました。また逆にわたしたちは誰もが、何らかの仕方で他の人の親切や好意、お世話を受けてこそ、何とか暮らしていけるのではないのでしょうか。

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。